

6 月は、読書行事を計画している学校も多いようです。好きな本を集中して読み、長い文章も苦にならずに読む力を育てることも大切ですが、いろいろな本と出会うことで、成長の糧になるような本と出会う指導も大切です。

学習指導要領国語の読書の目標や読むことの指導内容、言語活動例を参照して、学年に応じた学校での読書の指導を計画してください。

### 今年度の重点

「児童・生徒の学校図書館活用及び読書活動等に関する調査報告書 平成 29 年 4 月 1 日」（新宿区教育委員会事務局 教育支援課）を「しんじゅく学校図書館」のサイトに掲載しました。各学校ごとの集計は、近日中にメールにて、学校長あてに送らせていただきます。

今年度は、特に次の点を重点としたいです。

- ① 授業での学校図書館活用と学校図書館支援員との連携  
→資料準備、授業中の資料面での補佐（レファレンス）  
→参考図書の利用や本の探し方等について、専門的な立場で話をしてもらう 等
- ② 新聞の活用
- ③ 小学校高学年・中学校での読書活動や学校図書館活用の促進
- ④ 「先生や図書館の先生にすすめられたり、紹介されたりした本」を読む  
→読書の量とともに質の向上

### 「調べ方テキスト」の活用を

各学校でオリエンテーションが実施され、学校図書館を活用した学習が進められています。

「調べ方テキスト」は、新宿区の学校図書館教育推進委員会が作成しました。1 学級分配布されていますので、学校図書館に常設するなど、各学校で利用を工夫していただき、平成 30 年 1 月の第 2 回学校図書館研修会で実践報告や改善点を持ち寄り、学習により役立つ資料に改善していく予定です。活用のほど、よろしくお願いします。

### 豆 知 識 ～図書資料の並べ方～

図書館の本は、左から右へ時計回りに並べられています。どんな本が並べられているのかは、書架案内や棚見出し、差し込み見出しなどで表示されています。

もし、本が書架に隙間なく詰まっていたら、新しい本を購入するたびに、たいへん多くの本を動かさなくては、所定の分類の位置に新着本を置くことができません。そこで、おおむね分類記号や図書記号ごとに棚の右端を空け、ブックエンドを入れます。ブックエンドで押さえることにより、本が倒れないだけでなく地震の時などに本が棚から落ちるのを防ぎます。ブックエンドは、多量に必要な図書館用品です。

書架の棚の空いたスペースに、面出しといって、本の表紙が見えるようにおすすめの本を置けば、本との出会いの場にもなります。

